

IV 工夫と連携で産業が 躍動するまち

南風原産品を創り伸ばす農業の振興

農業委員会運営事業

(担当:経済建設部 農業委員会 局長:松本 仁志)

○農業委員会運営事業

1,100万円

農業委員会とは、「農業委員会等に関する法律」に基づいて市町村に設置が義務づけられている行政委員会、農業者と団体等の代表によって構成されている公平・公正な農業委員会です。主な業務は、毎月農業委員会総会(会議)を開催し、農地法に基づく許可申請、届書等の審査や、農地と農家の実情把握、農家相談、農地の利用・権利関係の調整・あっせん等を行っています。

また農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、重点業務である「農地等の利用の最適化」(担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進のために「農地利用最適化推進委員」が置かれています。

1. 農業委員・農地利用最適化推進委員報酬(16名) 713万円

2. 会計年度任用職員報酬(1名) 213万円

3. 旅費及び費用弁償 83万円

毎月開催される農業委員会総会や、農地の調査・研修およびパトロール等における交通費として支出しています。

4. 会長交際費 2万円

5. 需用費 13万円

農業者年金の普及推進用のパンフレットや認定農業者への情報提供活動(全国農業新聞購読料)として支出しています。

6. 役務費 3万円

遊休農地意向調査票、農業者年金案内の郵送代として支出しています。

7. 委託料 65万円

農地等総合管理システム保守・機器保守の委託料として支出しています。

8. 各種負担金 8万円

沖縄県農業会議負担金、南部地区農業委員会会長会負担金、沖縄県農業委員会等職員協議会負担金として支出しています。



▲農地パトロールの様子



▲農業委員会総会の様子

南風原産品を創り伸ばす農業の振興

新規就農一貫支援事業

(担当:経済建設部 産業振興課 課長:松本 仁志)

○新規就農一貫支援事業に係る経費

800万円

南風原町における農業を取り巻く情勢は、農業者の高齢化や将来の担い手不足など深刻な問題を抱えており、このままでは農業生産力や農業集落の維持が困難になることが懸念されます。

そこで農業の担い手の育成・確保が課題であることから、新規就農者が今後も農業を続けていけるよう、経営安定に必要な農業機械・施設に係る費用の一部を支援します。

対象条件は、年齢が65歳未満、就農5年未満の者で、年間の農業従事日数が150日以上の方で農地を取得又は賃借する見込みがあり、農業経営に参画している者です。

財源は県補助金が事業費の80%となっており、補助金の上限額は、800万円までとなっております。



▲実施事業

地力増強対策事業

(担当:経済建設部 産業振興課 課長:松本 仁志)

○地力増強対策事業

300万円

農産物の生産を増やすため土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くするための事業です。本町では、農家が農協等から堆肥を購入する際に、その費用の一部を補助します。

主な経費

堆肥購入 300万円

※一袋(15kg)に対し50円の補助



▲地力増強のため購入した堆肥

南風原産品を創り伸ばす農業の振興

多面的機能支払交付金

(担当:経済建設部 まちづくり振興課 課長:仲里 明)

○多面的機能支払交付金

154万円

地域共同で行う水路、農道等の維持管理活動等に支援を行います。(農業・農村の有する多面的機能を支える農業者や地域住民、団体等で活動する組織への補助金)



施設の点検



清掃状況

1. 今年度の事業内容 事業費 136万円

《収入》 国庫・県補助金 : 102万円 一般財源 : 34万円

《支出》 地域への補助金 : 136万円

※ 財内訳:国補助50%、県補助25%、町費25%

2. その他の経費 18万円

・プロッターリース料やトナー費用等活動報告に係る事務費となっています。

賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

住宅リフォーム支援事業

(担当:経済建設部 まちづくり振興課 課長:仲里 明)

○住宅リフォーム支援事業

200万円

南風原町民が、自己の居住する個人住宅の質の向上を目的に町内の施工業者を利用して行うリフォーム工事に対して補助金を交付する事業です。

対象工事は、バリアフリー改修工事、省エネ改修工事、耐久性を向上させる改修工事等です。20万円以上の工事が対象で、補助率は20%、補助金の上限額は20万円となっております。



商工会の育成強化

(担当:経済建設部 産業振興課 課長:松本 仁志)

○商工会の育成強化

1,680万円

1. 南風原町商工会補助金 680万円

商工会は、地域の商工業の振興と住みよい地域づくりのため、町内の商工業者によって組織された総合的経済団体です。指導団体として、その地域内にあるすべての商工業者について、公正な立場から地域商工業の総合的な改善や発展を図り、社会一般の福祉の増進に取り組んでいます。活力ある魅力的なまちづくりに寄与している町商工会に対し、町も補助金を支出しています。



↑経営革新セミナーの様子



↑はえばるフェスタの様子

南風原町商工会の主な仕事

- 金融相談: 中小規模企業にとって事業資金の確保は、経営上一番重要な問題です。融資を申込み際、依頼する適当な保証人がいないうえ、自己の担保能力も乏しいというのが実態です。そこでこのような経営基盤の弱い小規模企業のために、国や県などの、低金利で安心して借りられる各種融資制度の利用相談、指導を行っています。
- 税務・経理相談: 収入や支払い、税金などの記帳を正しく理解し、帳簿の数字に基づく近代的経営を推進していただけるよう、記帳から決算まで一貫した継続指導を行っています。
- 経営相談: 企業の体質改善・経営強化などで困っている小規模企業の経営相談に乗り指導・助言を行います。
- 労務相談: 労働力の確保・定着のために、職場環境改善や就業規則、給与規定の作成指導など、その他社会保険・労働保険の事務手続きについてのご相談にも応じています。
- 創業支援・経営革新支援: 新規に事業を始めようとする人に対する事業計画及び融資の相談又、現在の事業拡大や新たな事業を創出するための相談・指導を行います。

2. 南風原町商工会貸付金 1,000万円

南風原町商工会は、国、県、町の補助金や会員による会費などで事業運営を行っています。しかし、補助金や会費は全額が年度始めに入ってくるわけではありません。事業を運営するためにもまとまった資金が必要であり、その間の運営資金として町商工会へ貸付を行います。なお、貸付金は、年度内に全額町にもどってきます。

商品開発・技術力強化事業

(担当: 経済建設部 産業振興課 課長: 松本 仁志)

○商品開発・技術力強化事業

1,499万円

南風原町の特産品を通じた地域振興を図るため、主に町特産の農産品等を活用し異業種間の連携を促進しつつ、本町特産品の良さを引き出すための調査・研究及び、本町特産品のブランド化を図るための組織づくりを行い、ブランド認証スキームを確立するとともに、南風原ブランドの広報活動、販路開拓を行います。

主な経費 「地域ブランド構築・展開プロジェクト」委託料 1,499万円

賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

01
向風原カボチャチーズケーキ

02
沖縄キヒまる豚ローストポーク

03
赤ちゃんから使える!天然成分100%
肌をツヤツヤ&潤いプラス。

04
次代のスーパーフード「メリンガ」のお茶で、健やかなカラダへ。

↑「はえばる良品」認定商品

観光事業

(担当: 経済建設部 産業振興課 課長: 松本 仁志)

○観光事業

2,896万円

1. 南風原町観光協会補助金 1,239万円

南風原町の観光振興のため、一般社団法人南風原町観光協会に対し補助をしています。南風原町観光協会は「魅力があり、人が集まる地域が潤うまち」を目指して活動しています。

【主な事業】



・飛び安里凧上げ大会

200年もの昔、南風原の空を飛んだといわれる伝説の「飛び安里」。飛び安里が羽ばたいた南風原の空へ希望を乗せ凧げるイベントです。南風原町の新春の一大イベントとして定着しています。



・観光協会 HP

町の情報を発信するため、観光協会ではホームページのほかユーチューブ、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックを運営しています。魅力たっぷりの南風原町を紹介しており、アクセス数も年々増加しています。

2. 陸軍病院壕公開活用事業委託料 499万円

町の平和発信の拠点として整備した陸軍病院壕に県内外から訪れる多くの人々に戦争と平和、命について考えてもらう施設として公開活用に取り組んでいます。

20号壕内部の様子 →



3. シマじまガイド事業委託料 1,052万円

着地型観光メニューとして「シマじまガイド」を実施し、地元の魅力を伝えていく事業です。

まち歩きガイド(東新川) →



4. イメージキャラクター修繕料 90万円

「はえるん」のメンテナンス費用です。

5. その他の経費(消耗品、負担金等) 16万円

地域の連携で創る観光の振興

観光PR促進事業

(担当: 経済建設部 産業振興課 課長: 松本 仁志)

○観光PR促進事業

429万円

南風原町のイメージキャラクター「はえるん」を観光PRツールとして有効活用し、各種イベントやマスメディアへのPRを始め、観光施設、町民交流スポットなど、町内外においてPR活動をし、南風原町の観光振興に繋げていきます。

主な経費

観光振興会計年度任用職員報酬、手当、費用弁償 429万円



↑交通安全教室(北丘小)にて



↑くがに市場「かぼちゃ特価市」



↑電子図書館オープンセレモニー

黄金森公園スポーツ施設活性化事業

(担当: 教育部教育総務課 課長: 比嘉 純子)

○黄金森公園スポーツ施設活性化事業

1,760万円

良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により観光と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図るため、黄金森公園スポーツ施設の機能強化と受入体制の整備を行います。

陸上競技場及び野球場の芝生を専門的な知識・技術の元管理し、良好なフィールドを整備します。Jリーグキャンプや県外大学の陸上合宿の誘致及び町内外各種団体のスポーツ大会などを良好な環境でサポートします。

主な経費

黄金森公園芝生管理委託料 1,499万円

備品購入費(トレーニングバイク、陸上用器具等) 261万円

地域の連携で創る観光の振興



【芝生管理の様子】



【管理された芝生の状況】



【名古屋グランパス春季キャンプ】



【1ゴール10球キャンペーン贈呈式の様子】

歴史と伝統を誇る工芸産業の振興

琉球絣等伝統工芸事業

(担当: 経済建設部 産業振興課 課長: 松本 仁志)

○琉球絣等伝統工芸事業

1,968万円

1. 琉球絣後継者育成事業補助金 38万円

琉球絣事業協同組合が開講する後継者育成事業に対して補助しています。

後継者育成事業は琉球絣を製作する工程の中で織りを担当する織子の養成を行っています。

※この事業には国・県も補助し琉球絣事業協同組合も負担しています。

■研修内容 : デザイン、括り、染色等の総合的学習(技術者養成)

■研修期間 : 令和3年7月～令和4年2月(予定)(土日祝祭日休み)



↑ 令和2年度後継者育成事業研修生



↑ 令和2年度後継者育成事業研修生作品

2. 琉球絣事業協同組合への補助金 308万円

南風原町の特産品である琉球かすりの振興を目的に、琉球絣事業協同組合が行う、研修・派遣事業・販路開拓宣伝活動・展示即売等の経費に対して補助しています。



■ 琉球かすり会館 / Tel.889-1634

■ 開館時間 / 月～土 9:00～17:30

日・祝祭日閉館

※琉球絣の反物、バッグ、ウェアなども販売しています。
お気軽に足をお運びください。

3. 伝統工芸ふれあい広場事業への負担金 22万円

沖縄県と沖縄工芸ふれあい広場実行委員会が主催する、県内各産地の伝統工芸品を展示紹介し、需要の開拓、販路拡大を図る「沖縄工芸ふれあい広場」事業に対する負担金です。

「沖縄工芸ふれあい広場」は、年に1度(例年11月頃)開催しています。町からは琉球絣や南風原花織の機織りの実演や反物、バッグ、ウェア等の展示を行い南風原町の伝統工芸品である琉球絣・南風原花織を紹介しています。

歴史と伝統を誇る工芸産業の振興

4. (財)伝統的工芸品産業振興協会費 5万円

伝統的工芸品産業振興協会では、伝統的工芸品の良さを広く国民に普及し需要開拓を推進するため、伝統的工芸品月間を中心とした各種事業をはじめ、コンクールや展示会開催の他、各種媒体でのPRを実施するとともに、併せて産地の振興計画策定の指導、各種の調査研究、伝統証紙の発行等を行っています。

5. 琉球絣事業協同組合への貸付金 1,500万円

琉球絣事業協同組合は、国・県・町の補助金と組合員の会費で組合を運営しています。しかし、補助金や会費がすぐには入ってくるわけではありません。その間の運用資金(生産者への製品(反物)代金支払い等)として貸し付けを行っています。なお、貸付金は年度内に全額町にもどってきます。

6. 琉球絣の女王関連費用 95万円

ふるさと博覧会で選出された琉球絣の女王には、各種イベントへ出席してもらい南風原町と琉球絣・南風原花織のPRをしていただいています。また、琉球絣の女王がイベントに参加した際は、謝礼金をお支払いしています。



↑ 第32代 琉球絣の女王



↑ 南風原特産品のPR動画撮影風景

歴史と伝統を誇る工芸産業の振興